NIE実践報告

１．タイトル：中高一貫校のＮＩＥ実践

２．学校名

埼玉県　私立　城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校

３．実践者名（代表者名）

會田広一

４．学年

中学１年・２年・高校１年・３年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

中1・2道徳やLHR103・152　高1LHR279　高3情報40

６．単元（本時の学習課題）名

中1は福祉、中2は環境をｷｰﾜｰﾄﾞとした実践。高1は小論文へのｱﾌﾟﾛｰﾁ、高3はﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝが課題であった。

７．目標（狙い）

中1は福祉、中2は環境をｷｰﾜｰﾄﾞとして、授業や文化祭などでの展示や口頭での発表。高1は小論文作成へのｱﾌﾟﾛｰﾁ、高3は情報の授業を通じたﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝをねらいとした。

８．評価の視点

中1・2・高1ではｽｸﾗｯﾌﾟを続けながら、新聞記事から得た情報から、自分の思いを表現することが出来たか。
高3ではさらにパワーポイントなどを活用し、相手に正確な情報を伝えることが出来たか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

中1・2［道徳・LHR：3～5時間、夏期休暇中：6～12時間］（中2では3学期のLHRも継続して活用）
高1［LHR：4～6時間］高3［情報：4～6時間］　これ以外に中1・2、高1は夏期休暇中の課題あり

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

中1・2、高1は第2回　いっしょに読もう！新聞コンクールへ参加した。

中1　入学時から盲導犬と過ごされている方に話を聞くなど、福祉に関して関心を持たせ、今年度は福祉に関する新聞記事をスクラップしてまとめ、文化祭で発表することを促し、1学期をかけて指導を行った。
中2　中1と同じような授業展開で環境について指導を行った。中2では3学期に東日本大震災から1年ということをとらえ、がれき処理問題の記事など震災に関する記事を、生徒各自がまとめ直してＭＹ新聞にする実践も行った。
高1　学年に所属する教員がさまざまな新聞記事を選び、冊子にして生徒に渡した。20程の記事を生徒が読み200字以内で賛成・反対のどちらかに立ち、意見をまとめる実践を行った。保護者会や文化祭を通じて、生徒同士のみならず多くの来客に意見を読んでもらう機会も作った。
高3　情報の授業でプレゼンテーションを行う素材の1つとして、40名の生徒が新聞記事を活用した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

本校は、川越市にある中高一貫の男子校である。様々な情報の中から伝えたい内容を要約してまとめ、文章に表現することを苦手とするものが多いことも実情である。その状況で、下の成果と課題にあげるように、学校賞・個人賞をいただけたことは、生徒にとって今後の自信となっていくものと思われる。

12．成果と課題

（成果）第2回いっしょに読もう！新聞コンクール受賞
中1　優秀賞（着眼賞）１名　段差の不便解消へ　川越駅東口　車いす専用バス停設置
中2　優秀賞（提言賞）１名　来て見て実感　本当の被災地　復興考えるバスツアー　他県から小中高生
高1　学校賞
（課題）新聞購読料の確保、ＮＩＥを実践していく際の所属（この2年間は進路指導部が主導したが、学年継続で実践を継続できるのか）、全学年を通じたＮＩＥ実践への計画